

[21] 九州大学心理学研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2558914>

出版情報：九州大学心理学研究. 21, 2020-03-16. Faculty of Human-Environment Studies, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

九州大学大学院人間環境学研究院「九州大学心理学研究」編集委員会
九州大学心理学研究（大学院人間環境学研究院紀要）執筆規定

2019年6月7日改訂

紀要趣旨

九州大学心理学研究は、九州大学における心理学研究が集結する学術論文誌として研究発表の場を求める研究者に広く門戸を開くことで、人間環境学研究院ならびに人間環境学府での教育・研究活動の活性化を図り、各研究領域の新たな可能性を切り拓くことを目指す。

1. 投稿資格

論文の著者について次のように定める。

- (1) 原則として第一著者は、九州大学大学院人間環境学研究院に所属、または人間環境学府の専攻・コースにおいて心理学・臨床心理学を担当する教員、及びその指導を受ける大学院生、研究生、日本学術振興会特別研究員、学術協力研究員、学術研究員に限る。
- (2) 大学院生、研究生、研究員等は指導教員の許可を得たうえで、単著での投稿も認める。
- (3) 大学院修了者（博士課程の場合は、単位取得後退学を含む）で大学院に所属しない者は、指導教員との共著である場合に限り、著者（第一著者を含む）となることを認める。ただし、投稿できる限度は修士課程修了後1年以内、博士課程修了（単位取得後退学）後3年以内とする。

2. 執筆要領

- (1) 言語は日本語または英語とする。
- (2) 論文の分量は、教員以外は、和文の場合、400字原稿用紙48枚まで、英文の場合、A4ダブルスペース25枚程度までとする（図表・文献を含む）。教員についてはその限りではない。
- (3) 用紙の大きさはA4判縦置きとし、1ページ1200字（40字×30行）横書きとする（行番号を必ず入れること）。それ以外の要領については、行動系のセクションに投稿する場合は「心理学研究」の執筆規定に、臨床系のセクションに投稿する場合は「心理臨床学研究」の執筆規定に準じる。特に引用文献について、それぞれの執筆規定に定められている記述様式に留意し、厳守すること。
- (4) 英文については投稿前に必ずしかるべき人（英語を母語とする心理学研究者が望ましい）の校閲を受けること。
- (5) 原稿には、著者の氏名や所属、指導教員が推測される謝辞やその他の情報を記載しないこと。これらの情報は論文の掲載が決定した後に掲載する。

3. 執筆について

投稿資格を確認し、教員以外が第一著者となる場合は、主指導教員の内諾を事前にもらうこと。

4. 原稿提出方法

- (1) 大学院生及び研究生は、提出する前に主指導教員の指導を受け、推薦書に教員のコメントとサインを頂き、スキャンする。
- (2) 原稿、推薦書、整理票、倫理チェックリスト、英文校閲確認書を添付し、メールで提出する。※投稿時のファイル形式は全てPDFとする。ただし、原稿が受理された場合、原稿を校正する段階で、別形式のファイルの提出を求められる場合がある。

5. 著作権について

「九州大学心理学研究」に掲載された論文の著作権は、九州大学大学院人間環境学研究院「九州大学心理学研究」編集委員会に帰属するものとする。

著者が転載を希望する場合には、転載許可申請書を提出すること。申し出を受けて同委員会が審議の上、転載の可否を決定するものとする。